

春日部市の締結する契約からの暴力団排除措置に関する要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、市の契約の適正な履行を確保するため、有資格業者又は有資格業者の役員等が、暴力団関係者であること又は暴力団関係業者を利用していることなどが判明した場合における入札参加除外等の措置について、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

(1) 市の契約 市が一般競争入札又は指名競争入札その他の方法により発注する次の契約をいう。

ア 建設工事の請負、建設工事に係る設計、調査及び測量の業務の委託並びに道路、河川、苑地及び下水道の維持管理業務の委託（以下「建設工事等」という。）

イ 物品の買入れ、売払い、修繕、印刷の請負並びに電子計算に関する業務、建築物の管理に関する業務、催物、映画及び広告の企画・製作に関する業務その他業務の委託（以下「物品の買入れ等」という。）

(2) 有資格業者 建設工事等及び物品の買入れ等の競争入札に参加する資格に関する審査を受け資格を有すると認められた者をいう。

(3) 有資格業者の役員等 有資格業者が法人の場合は役員（非常勤役員を含む。）並びに支配人及び支店又は営業所の代表者、個人の場合は支配人及び支店又は営業所の代表者をいう。

(4) 使用人 有資格業者に雇用される者で前号以外の者

(5) 暴力団 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。

(6) 暴力団関係者 暴力団の構成員及び暴力団に協力し、又は関与する等これと交わりを持つ者をいう。

(7) 暴力団関係業者 暴力団と関係を有する有資格業者をいう。

(入札参加除外)

第3条 市長は、有資格業者が別表に掲げる措置要件のいずれかに該当すると認めるときは、次の各号に掲げる契約の区分に応じ、当該各号に定める委員会（以下「委員会」という。）の審議を経て当該措置要件について同表に定める期間又はその範囲内で情状に応じて定める期間、当該有資格業者を入札から除外するものとする。

(1) 建設工事等 春日部市建設工事等入札審査委員会

(2) 物品の買入れ等 春日部市物品売買等入札審査委員会

- 2 市長は、有資格業者のうちの共同企業体及び官公需適格組合の証明を受けた中小企業等協同組合（以下「組合等」という。）を、前項の規定により入札から除外するときは、当該組合等の構成員のうちの有資格業者についても委員会の審議を経て、当該組合等の入札から除外される期間の範囲内で情状に応じて期間を定め、入札から除外するものとする。
- 3 市長は、組合等の構成員のうちの有資格業者を、第1項の規定により入札から除外するときは、当該組合等についても委員会の審議を経て、当該有資格業者の入札から除外される期間の範囲内で情状に応じて期間を定め、入札から除外するものとする。
- 4 市長は、有資格業者が別表に掲げる措置要件のいずれかに該当すると認められる事案の発覚後、入札参加除外決定までの間に同表に掲げる措置要件のいずれかに該当する役員等を変更した場合についても、委員会の審議を経て、当該措置要件について同表に定める期間又はその範囲内で情状に応じて定める期間、当該有資格業者を入札から除外するものとする。

（契約の解除）

第4条 市長は、契約の相手方が入札参加除外措置を受けた場合に、当該契約の解除措置を講ずることができるものとする。

（入札参加除外の特例）

第5条 有資格業者が1の事案により別表に掲げる措置要件の2以上に該当することとなった場合における入札参加除外の期間は、当該措置要件ごとに別表に規定する期間の短期及び長期の最も長いものをもってそれぞれ入札参加除外の期間の短期及び長期とする。

- 2 有資格業者が過去に別表各号の措置要件に係る入札参加除外を受け、新たに別表各号の措置要件のいずれかに該当することとなったときの入札参加除外の期間の短期は、当該措置要件について別表に規定する短期の2倍の期間とする。
- 3 春日部市の契約に係る入札参加停止等の措置要綱の別表第2の各号の措置要件に係る入札参加停止の期間中又は当該期間の満了後5年を経過するまでの間に、それぞれ別表各号の措置要件のいずれかに該当することとなったときの入札参加除外の期間の短期は、当該措置要件について別表に規定する短期の2倍の期間とする。
- 4 市長は、有資格業者について、極めて悪質な事由があるため、又は極めて重大な結果を生じさせたため、別表に規定する期間又は第1項の規定による入札参加除外の期間の長期を超える入札参加除外の期間を定める必要があるときは、別表又は第1項の規定にかかわらず、入札参加除外の期間の長期を別表又は第1項に規定する期間の長期の2倍の期間ま

で延長することができる。

5 市長は、入札参加除外の期間中の有資格業者について、情状酌量すべき特別の理由又は極めて悪質な事由が明らかとなったときは、別表又は前各項に規定する期間の範囲内で入札参加除外の期間を変更することができる。

6 市長は、入札参加除外の期間中の有資格業者が、当該事案について責めを負わないことが明らかになったときは、当該有資格業者について入札参加除外を解除するものとする。

(入札参加除外の通知)

第6条 市長は、前条の規定により入札参加除外の措置を行ったときは、当該有資格業者に対し、入札参加除外通知書(別記様式)により通知するものとする。ただし、市長が通知する必要がないと認める相当の理由があるときは、通知を省略することができる。

(随意契約からの除外)

第7条 市長は、入札参加除外期間中の有資格業者を随意契約の相手方としないものとする。

(下請負等の禁止)

第8条 市長は、入札参加除外期間中の有資格業者への下請負又は再委託を承認してはならない。

(妨害の際の措置)

第9条 市長は、契約の相手方が、当該契約の履行に関し暴力団関係者により妨害を受けた旨の申出があったときは、警察への被害届の提出を指導するとともに、当該契約の相手方に対し工程等の調整、履行期間の延長等の必要な措置を講じるものとする。

(関係機関への協力要請)

第10条 市長は、この要綱に基づく措置を実効あるものにするため、関係官公庁及びその他の機関の積極的な協力を要請するものとする。

(春日部警察署との連携)

第11条 市長は、春日部警察署との密接な連携のもとに別表の措置要件に該当すると思われる情報提供があったときは、春日部警察署の参加を求め、当該情報の事実確認を行うものとする。

(その他)

第12条 この要綱に定めるもののほか、暴力団関係者及び暴力団関係業者の排除に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

(春日部市の締結する契約からの暴力団排除措置に関する要綱の廃止)

2 春日部市の締結する契約からの暴力団排除措置に関する要綱（平成21年7月21日施行。以下「旧要綱」という。）は、廃止する。

(経過措置)

3 この要綱の施行の日前に、旧要綱の規定によりなされた手続その他の行為は、この要綱の相当規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

別表（第3条、第5条及び11条関係）

措 置 要 件	期 間
1 有資格業者又は有資格業者の役員等が暴力団関係者であるとき、又は暴力団関係者が有資格業者の経営に事実上参加しているとき。	当該認定をした日から12か月を経過し、かつ改善されたと認められるまで
2 有資格業者又は有資格業者の役員等が、自社、自己若しくは第三者の不正の利益を図り、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団の威力又は暴力団関係者を利用するなどしているとき。	当該認定をした日から6か月以上12か月以内
3 有資格業者又は有資格業者の役員等が、暴力団又は暴力団関係者に対して資金等供給し、又は便宜を供与するなど積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき。	当該認定をした日から4か月以上12か月以内
4 有資格業者又は有資格業者の役員等が、暴力団又は暴力団関係者と社会的に非難されるべき関係を有しているとき。	当該認定をした日から2か月以上9か月以内
5 有資格業者又は有資格業者の役員等が、暴力団関係業者であることを知りながら、これを不当に利用するなどしているとき。	当該認定をした日から2か月以上9か月以内
6 有資格業者又は有資格業者の役員等若しくは使用人が業務に関し、暴行、威圧する言動その他の不当な手段により、違法な行為を行ったとして暴行等により逮捕され、又は逮捕を経ないで公訴を提起されたとき。 イ 市内で行われたもの ロ 県内（イを除く。）で行われたもの ハ 県外で行われたもの	逮捕又は公訴を知った日から12か月 逮捕又は公訴を知った日から9か月 逮捕又は公訴を知った日から6か月

宛

春日部市長

入札参加除外通知書

春日部市の締結する契約からの暴力団排除措置に関する要綱に基づき、下記のとおり入札参加を排除することとしたので通知します。

1 入札参加除外期間

年 月 日から 年 月 日まで

2 入札参加除外の理由